



活動テーマ	プラド美術館展鑑賞会	参加者	9名
実施日時	2015.12.15 (火) 10:00~12:00	活動場所	三菱一号館美術館 (丸の内)

鑑賞記

第3回、名画鑑賞友の会は、東京駅近くの三菱一号館美術館で「プラド美術館展」を鑑賞しました。男性5名、女性4名の計9人が参加し大盛況でした。予めプラド美術館につ



いての事前学習会を行っていたので、参加者は深く鑑賞できたようです。この展覧会のサブタイトルは「スペイン宮廷美への情熱」で15~19世紀のサイズの小さい絵を中心に約100点を見ることができました。画家もスペインを代表するベラスケスとゴヤをはじめとして、エル・グレコ、ブリュゲル、ティツァーノなど多彩でした。サイズが小さいということで、今回の絵は宮殿や邸宅の小部屋などに飾られたものです。大型作品より近くで鑑賞されるため、筆

致の正確さや細部まで描きこまれた表現を堪能することができました。

特に三菱一号館は各部屋に暖炉があり、その上に飾られた絵はヨーロッパ風の雰囲気の中でますます引き立ちました。私個人的には「中世後期と初期ルネサンスにおける宗教と日常生活」のセクションの絵に深く引き込まれ、時間をかけて見たので自分なりに新しい発見がありました。終了後のランチの席で、それぞれ自分が心に残った絵や感動したところを発表しあい理解を深めました。スペインに行って実際にプラド美術館を訪れたことのある人もいましたが、日本にいてもこのように鑑賞できるチャンスがあったのは、本当にラッキーでした。佐藤祐子記

